

新しい命令として

(ヨハネ2・7～11)

一、テキストに聞く

7節を見てまいります。〈愛する者はち。私があなたがたに書いているのは新しい命令ではなく、あなたがたが初めてから持っていた古い命令です。その古い命令とは、あなたがたがすでに聞いているみことばです。〉とあります。だれが、だれに語っているのでしょうか。まず「だれが」ですが、「ヨハネの手紙第一」の著者は、昔から「ヨハネ」と受け止めてきました。そのまま受け止めてかまわないとthoughts。4章7節には〈愛する者たち。私たちは互いに愛し合いましょう。愛は神から出ているのです。愛がある者はみな神から生まれ、神を知っています〉と著者によつて語られています。このことばより、ヨハネの福音書13章34節の〈わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合ひなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合ひなさい〉が思い起こされます。そういうわけで、ヨハネの手紙とヨハネの福音書は同一の著者か、あるいは同じ流れにある教会の指導者であつたと読むことができます。

2章7節に戻りますが、〈2・7〉と、著者が語っています。そうであるから

には、著者はキリストが語られたことばである「互いに愛し合ひなさい」を大切にする流れにいた方であると、教えられます。

ところでヨハネの手紙第一が発行された時、ある種の問題があつたと推測できます。それは、キリスト教会が主イエスを大切にし、その教えを大切にしていたとき、それまでとは異なることを語り、幅を利かせるようになつた人たちが現れただけです。彼らは、2章4節にありますように〈神を知っていると言いながら、その命令を守つて〉いました。1章8節で語られていましたように〈自分には罪がない〉と語っていた可能性があります。罪とは、その人が考えるところの「悪いこと」というよりも、神の御意思から逸れていることです。

さて二度、2章7節を見てまいります。〈2・7〉と、著者は語っています。〈古い命令〉とは、主イエス・キリストが語られた〈互いに愛し合ひなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合ひなさい〉が思ひ起こさります。そういうわけで、ヨハネの手紙第一とヨハネの福音書は同一の著者か、あるいは同じ流れにある教会の指導者であつたと読むことができます。

世紀の末です。

8節を見てまいります。〈私は、それをして新しい命令として、もう一度あなたがたに書いているのです。それはイエスにおいて真理であり、あなたがたにおいても真理です。闇が消え去り、まことの光がすでに輝いているからです。〉とあります。当時、教会に忍び込んでいた異端者が、そういう態度だったのではありません。と言いますのは、9節、10節で次のように語られているからです。〈光の中にいると言ひながら自分の兄弟を憎んでいる人は、今でもまだ闇の中にいるのです。自分の兄弟を愛している人は光の中にとどまり、その人のうちににはつまづきがありません。〉と。彼らは〈光の中にいる〉と公言しながら、〈自分の兄弟を憎んで〉いました。すなわち、同じ教会にいる人たちを憎んでいました。自分たちの主張に耳を貸さなかつたからだつたのかもしれません。2章19節には、〈彼らは私たちの中から出て行きましたが、もともと私たちの仲間ではなかつたのです。もし仲間であつたなら、私たちのもとにはどまつていてはどう。しかし、出て行ったのは、彼らがみな私たちの仲間でなかつたことが明らかにされるためだったのです〉とありますので、教会の交わりから出て行ったことが分かります。そういう彼らは、2章18節で「あなたがたを憎んでいる人」になつてしまふことがあります。身近にいる兄弟姉妹を愛され、かどうかは、私共がキリストの福音に生かされているか否かを見分ける試

8節を見てまいります。〈私は、それをして新しい命令として、もう一度あなたがたに書いているのです。それはイエスにおいて真理であり、あなたがたにおいても真理です。闇が消え去り、まことの光がすでに輝いているからです。〉とあります。当時、教会に忍び込んでいた異端者が、そういう態度だったのではありません。と言いますのは、9節、10節で次のように語られているからです。〈光の中にいると言ひながら自分の兄弟を憎んでいる人は、今でもまだ闇の中にいるのです。自分の兄弟を愛している人は光の中にとどまり、その人のうちににはつまづきがありません。〉と。彼らは〈光の中にいる〉と公言しながら、〈自分の兄弟を憎んで〉いました。すなわち、同じ教会にいる人たちを憎んでいました。自分たちの主張に耳を貸さなかつたからだつたのかもしれません。2章19節には、〈彼らは私たちの中から出て行きましたが、もともと私たちの仲間ではなかつたのです。もし仲間であつたなら、私たちのもとにはどまつていてはどう。しかし、出て行ったのは、彼らがみな私たちの仲間でなかつたことが明らかにされるためだったのです〉とありますので、教会の交わりから出て行ったことが分かります。そういう彼らは、2章18節で「あなたがたを憎んでいる人」になつてしまふことがあります。身近にいる兄弟姉妹を愛され、かどうかは、私共がキリストの福音に生かされているか否かを見分ける試

おり、今や多くの反キリストが現れています。それによって、今が終わりの時であると分かります」と語っています。すなわち著者は、彼らが「反キリストである」と語っています。

二、新しい命令として聞く

著者は「互いに愛し合ひなさい」を、だれを対象として語ったのでしょうか。もしこの聖句を「人類に対する博愛を説いているのだ」と受け止めるなら、地球上で最も貧困に面している第三世界にいる人たちを愛しましよう、ということになるでしょう。ですが、2章9節、10節、11節の〈兄弟〉は、イエス・キリストを信じる兄弟姉妹のことを第一義的に語つていると思われます。遠い所にいるだれかに親切にすることは、だれかによって意図的につくられた情報によって事が行われることになりますから、多分に思想的なものが背後にあると思います。第三世界のことを遠くから見ていて、「良いことだから進めた方が良い」と語り、自分たちの考え方には賛同しない人をさばき、場合によつては憎むようになつたら、それこそ〈光の中にいると言ひながら自分の兄弟を憎んでいる人〉になつてしまふことがあります。身近にいる兄弟姉妹を愛され、かどうかは、私共がキリストの福音に生かされているか否かを見分ける試